大人の贅沢

ライト・シンフォニックコンサート

アズ・イフ・ウィー・ネバー・セッド・グッバイ
『サンセット大通り』

君住む街
『マイ・フェア・レディ』

見果てぬ夢
『ラ・マンチャの男』

命をあげよう
『ミス・サイゴン』

ア・ニューライフ
『ジキル&ハイド』

ミュージック・オブ・ザ・ナイト
『オペラ座の怪人』

夢やぶれて
『レ・ミゼラブル』

ほか

【指揮】横山 奏
【ゲスト】岡 幸二郎
【管弦楽】大阪交響楽団

Light Symphonic Concert

2022 5.21（土）
14:00開演（13:00開場）

ザ・シンフォニーホール

S 8,000円　A 6,000円　プラチナ 10,000円（全席指定／税込）

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

▌プレイガイド

■ e+（イープラス） https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯）　■ ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall [Lコード：52003]

■ チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/ [Pコード：205-558]

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：ザ・シンフォニーホール／公益社団法人大阪交響楽団

ライト・シンフォニックコンサート

大人の贅沢

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

開館35周年を迎えた2017年にザ・シンフォニーホールが大阪交響楽団と始めた人気シリーズ「ライト・シンフォニックコンサート」。「大人の贅沢」をテーマに、華麗かつ豪華な大人のステージを展開する定番の人気企画だ。これまで、女性ヴァイオリニストの川井郁子やクラシックギタリストの村治奏一、バンドネオン奏者三浦一馬ら人気の演奏家が登場したが、今回は昨年に続き、ミュージカル俳優、岡 幸二郎がステージに立つ。元劇団四季のスターで知られる岡が『オペラ座の怪人』からの「ミュージック・オブ・ザ・ナイト」といった定番曲に加え、『ジキル&ハイド』からの「ア・ニューライフ」といった新たな名曲も披露。大阪交響楽団の重厚な演奏に乗せ、昨年よりも多彩で深化したステージが楽しめそうだ。ザ・シンフォニーホールで歌うのはこれが3度目の岡。音響面で優れていると演奏者から評価が高い同ホールとの親和性もより高まり、充実の内容となるのは間違いない。

文・産経新聞編集委員 岡田敏一

岡 幸二郎［ゲスト／ミュージカル俳優・プロデューサー］

福岡県出身。大学卒業後、劇団四季にシーズンメンバーとして参加。『オペラ座の怪人』『クレイジー・フォー・ユー』『アスペクツ・オブ・ラブ』等に出演。1994年『レ・ミゼラブル』のアンジョルラス役をオーディションで射止め、その華やかな風貌と圧倒的な歌唱力で一躍ミュージカルスターへと躍進した。2003年からは同作品でジャベール役を演じ、17年にわたり『レ・ミゼラブル』に参加した。ミュージカルのほか、ストレイトプレイやTV（NHK大河ドラマ『義経』他）、ラジオ、CM、フル・オーケストラからライブハウスまでのコンサート、トークショー等々、精力的に活動している。CDはソロアルバムとして、『Love Collection』『The Prayer』『Best of Musical』『I Am What I Am ~ 私はアタシ』をリリース。また、ミス・サイゴン出演を機に「ミス・サイゴン基金」を立ち上げ、ボランティア活動にも熱を注ぐ。九州大谷短期大学客員教授。

横山 奏［指揮］

18年東京国際音楽コンクール〈指揮〉で第2位および聴衆賞を受賞。一躍注目を集め、今後の活躍が大いに期待される若手指揮者である。札幌市出身。北海道教育大学を卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院を修了。17年WMC Kerkrade指揮者コンクールで第3位受賞。15-17年シティ・フィル指揮研究員。都響、読響をはじめ、全国各地のオーケストラと共演。21年、バーンスタインの「キャンディード」（田尾下哲演出）を指揮し、公演を大成功に導く。同年の大阪響とのドヴォルジャーク「交響曲第8番」は、「社会的、政治的な苦悩に覆われている状況への作曲家の素朴な想いを巧みに引き出した」（『音楽の友 2021年11月号』）と絶賛された。

大阪交響楽団［管弦楽］

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子（故人）が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史（常任指揮者）、柴田真郁（ミュージックパートナー）、髙橋直史（首席客演指揮者）の3名の就任を予定しており、さらなる楽団の飛躍が期待されている。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO（当時） 樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。

楽団公式ホームページ http://sym.jp